

人口と世帯

51.10 1現在
(先月比)

男 5,768人 (-1)

女 6,093人 (-1)

計11,861人 (-2)

世帯数2,750 (±0)

みくに報

編集 国見町役場
発行

(企画課)

昭和51年10月15日

No. 40

秋の全国交通安全運動

こどもと老人の交通事故をなくそう

小坂小学校 鼓笛隊



'76

10月

いわし雲 ススキ 赤とんぼ
熟れた柿と青い空が
みごとなコントラストを描き
秋は 日一日と
深まりを見せて行く

小坂小で交通安全パレード

九月二十九日、小坂小学校の児童による交通安全パレードが行われました。

これは、学校の年間行事の一つとして児童の交通安全の意識を高めるために毎年行っているもので今年で五回目になります。

参加したのは、全校生徒一四名のほか、県交通安全小坂部会、交通安全母の会、桑折警察署などのみなさんで、小坂部落から泉田・太田川部落まで一周し、地域の人々に交通安全を訴えました。

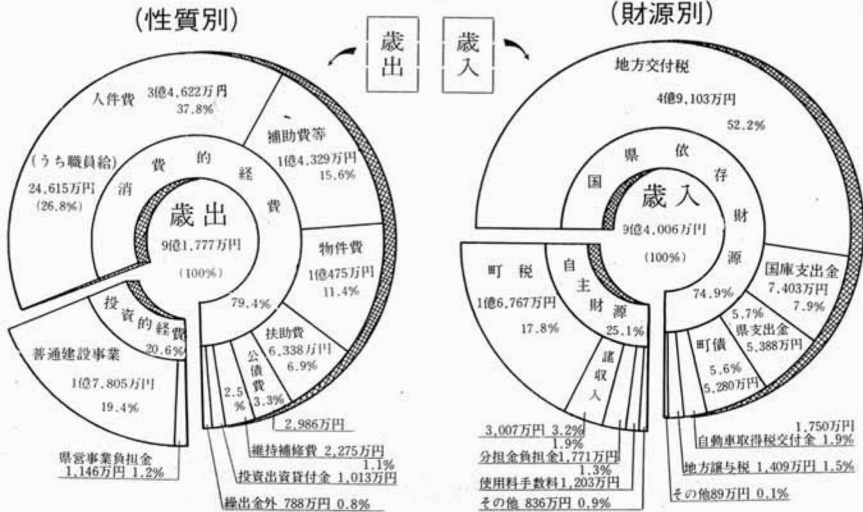
使われた

財政を公表

わたしたちが納めた税金はどんな役割をはたし、どのように使われているのでしょうか。

昭和50年度の一般会計、および国民健康保険など特別会計の決算が、9月の定例議会で認定されました。

ここでは主に一般会計について使いみちをお知らせします。



歳

入

この収入は、町の面積や人口、道路の延長など一定の基準によって国から交付されるお金で、五十

地方交付税

昭和五十年度の歳入決算額は九億四千六百万円で、前年度より一億三千九十八万円多い、一二・四％の伸びとなりました。

主な財源は何と云っても地方交付税で、全体の半分を占め、ついで町税（一七・八％）、国庫支出金（七・九％）、県支出金（五・七％）の順となっています。

歳入を大きく分けると依存財源と自主財源に分けられます。依存財源とは、町が仕事を進めて行くために町の収入で足りないとき国や県にたよるもので、わが町ではこの依存財源が七四・九％もあります。一方、自主財源は町が自ら生み出す財源で、町税、使用料、手数料、財産収入などです。この自主財源が多ければ多いほどその町の財政が豊かだと言えます。わが町は二五・一％だけです。

同じように県が支出してくれる補助が県支出金で、五千三百八十八万円があります。

県支出金

収入の三番めとして七千四百三十一万円の国庫支出金があります。これは、水道、林道、道路など町で行う事業に対し、国が補助してくれる収入です。

国庫支出金

総額一億六千七百六十七万円で前年度より一七・八％、二十四十三万円多くなっています。内容は固定資産税が四〇・二％と最も多く、ついで町民税、たばこ消費税の順です。

町税

年度は四億九千三百三万円となり、一〇・四％の伸びとなりました。

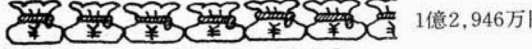
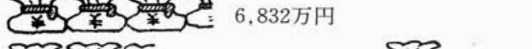
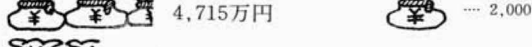
町民の税負担



	町民税	固定資産税
一世帯当り	23,211円	24,530円
一人当り	5,234円	5,532円

9億円はこう

昭和50年度 町の

総務費		1億7,500万円
土木費		1億6,588万円
教育費		1億4,986万円
民生費		1億2,946万円
農林水産業費		1億1,034万円
衛生費		6,832万円
消防費		4,715万円
公債費		2,985万円
議会費		2,901万円
その他		1,287万円

歳出 (目的別)



… 2,000万円

ひとり当たりの
歳出
75,506円

歳

出

今年もできるだけ節約につとめました。しかし、国、地方をとわず不況の長期化とともに全国的な財政難から、わが町も非常にきびしい五十年度でした。

しかしながらこのような中で、町は住民の生活関連事業を重点的に実施し、反面、経費の節減、効率化につとめ健全財政を維持しました。歳出総額は九億一千七百七十七万円で、前年度より九千三百十三万円ふえて一・三％伸びました。

それでは各部門ごとに分けてお知らせします。

総務費

歳出の中で最も多い総務費は、一般事務に必要ないわゆる経常的な費用です。町三役や一般職員の人件費、町報印刷などの文書広報費、財産管理費、徴税費、選挙費、戸籍住民登録などに要する経費などがあります。

・庁舎改造(窓サッシ)

三〇三万円

土木費

五十年度は道路の整備と公営住宅建設を重点施策としました。道路は新設一件、改良六件、舗装三件をなし、また山崎字大坂地内に簡易耐火構造二階建一〇戸の公営住宅を建設しました。

・道路台帳整備委託料

三三一万円

・員田・石畑地内町道排水工事

一六〇万円

・町道補修資材

四六九万円
(次ページへ)

・公用自動車購入(六人用)

二〇二万円

・部落集会所建設補修費補助金

一四九万円

・生活バス路線維持補助(梁川・員田線)

一〇三万円

・町史編さん費 一、三三〇万円

・町税計算センター委託事業

二二四万円

・広報印刷費

二二〇万円



▲貝田・石畑地内町道排水工事



▲大坂地内の公営住宅
に入る道路新設
山崎字大坂地内に
完成した公営住宅



- 教育費**
- ・小・中学校、幼稚園の施設や備品などの整備、また、社会教育、社会教育の振興のため図書、備品の購入、各種大会参加奨励、各種団体の育成、講演会、講習会の開催など積極的に推し進めました。
 - ・三町学校給食センター協議会負担金 一、〇五四万円
 - ・小・中学校宿日直代行員負担金 四八四万円
 - ・大枝小学校組合負担金 一九三万円
 - ・県北中学校七教室床張替工事 二五八万円

- (次ページより)
- ・高寺二号線舗装工事 一、一五〇万円
 - ・内谷西堂線町道改良工事 一、三二四万円
 - ・峯窪上野線町道改良工事 七四八万円
 - ・山崎字大坂地内町道新設工事 三三三万円
 - ・徳江地内高田三斗線舗装工事 三三三万円
 - ・岩塚線町道改良工事 三六九万円
 - ・北古館、板橋、沢田団地内舗装工事 四二二万円
 - ・公営住宅修繕工事 一三八万円
 - ・山崎字大坂地内・公営住宅建設工事 四、三五八万円

- ・老人医療十割給付 三、七六〇万円
- ・児童手当交付金 一、六九二万円
- ・季節保育所開設 七九五万円
- ・重度心身障害者医療給付 二六九万円
- ・老人医療高額分国保会計繰出し 二〇〇万円
- ・養護老人ホーム組合負担金 二〇〇万円

民生費

常設保育所のない森江野、小坂大木戸、大枝地区に季節保育所を開設(延日数一六〇日、幼児数約一八〇人)し、幼児の安全保育と農家の一助をはかりました。また町単独事業として重度障害者にあつては三級(三〇人)、精薄者にあつてはB級(八人)に対して医療費の扶助、八〇歳以上の老人(二二一人)に対して敬老年金を交付するなど、社会的弱者の福祉向上をはかりました。

- ・各小学校備品購入(教材も含む) 一、一八万円
- ・藤田、森江野幼稚園備品購入 一四五万円
- ・中学校備品購入(教材も含む) 二五五万円
- ・各小学校校舎維持補修費 一三五万円

農林水産業費

- ・敬老年金交付 一、五五万円
- ・農業の振興に大きな期待が寄せられているほ場整備事業は、第二工区のうち徳江地内三六ヘクタールが完了しました。また、農業就業改善対策、作付転換誘導など補助事業の確保と、農道整備一件、農用水路十件、畜産関係については町営牧野の管理小屋を建設しました。
- ・伊達西部農業基盤整備協議会負担金 八三〇万円
- ・農業育成補助金 一〇〇万円
- ・農業就業改善対策事業補助金 二一九万円
- ・各種団体等補助金 二八七万円
- ・農業災害利子補給金 一八八万円
- ・水路改良等測量委託料 一六七万円
- ・地域開発特別対策 八七三万円
- ・県営大枝地区洪水防除事業負担金 六一六万円
- ・小畑線林道開設事業九六〇万円
- ・鳥取線林道開設事業 一、二四八万円
- ・桑折町・国見町有北山組合特別負担金 二二六万円



▲着々と進むほ場整備

右上 内谷西道線町道改良工事

右下 岩塚線町道改良工事



特別会計決算額

(単位円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引
国民健康保険	334,750,847	300,175,210	34,575,637
貝田簡易水道	14,772,629	12,859,186	1,913,443
育 英	2,707,633	1,186,660	1,520,973
入 山 財産区	2,226,158	2,022,796	203,362
大木戸財産区	730,190	120,410	609,780
藤田財産区	526,071	417,537	108,534

水道事業決算額

(単位円)

水 道 事 業	歳 入	歳 出	差 引
収 益 関 係	41,661,484	38,152,837	3,508,647
資 本 関 係	100,000	4,270,358	△ 4,170,358

資本的関係差引不足額は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金で補てんした。

献血にご協力下さい！

11月16日に献血バスが来町

信用金庫前 午前9時30分～10時
役 場 前 午前10～正午
国見電子前 午後1時～3時

衛生費

公立藤田病院組合、伊達地方衛生処理組合、火葬場協議会負担金は、住民生活に直結している重要な施設の整備拡充をはかるものです。また、結核検診、成人病検診各種予防接種など、住民の健康を守る重要な施策の一つとして取り組んでいるものです。

・伊達地方衛生処理組合負担金 一、七五二万円
・成人病検診等委託事業 一三二万円
・公立藤田病院組合負担金

消 防 費

一、七〇四万円
保健婦活動事業国保会計繰出金 三、四〇万円
水道事業会計補助金 五〇〇万円
結核検診事業 一〇〇万円
成人病検診など委託事業 一三二万円

部落の防火用水槽の設置補助、防火水槽フエンス、ポンプ車庫をつくるなど、住民生活の安全と防火施設の整備をはかりました。

・伊達地方消防組合負担金

商 工 費

三、〇四六万円
光明寺ポンプ車庫建設 二、四四万円

町商工会補助、また、中小企業者金融対策としての預託金の増額をなし、商工の振興をはかりました。

・中小企業振興対策預託金 八〇〇万円
・商工会振興費補助金 二六〇万円

グループ紹介



小坂婦人会



ビン詰講習会に集まったみなさん

私たち小坂婦人会には現在会員が百十八名おり、他の婦人会と同じくいろいろな事業を実施して

ります。敬老会の参加、青年会や老人クラブとの話し合い、運動会や盆踊り大会の参加、農閑期には

深まる秋

「走ろう会」に参加しよう

藤田字観月台一

佐々木 治郎

十月十日の体育の日を記念して公民館から「走ろう会」の会員を募集する呼びかけがあった。小生

は若い時からスポーツ、特に走ることに、泳ぐことに興味を深くもっていたから喜んで参加申し込みを

善付教室、生け花や料理の講習会などを行います。

しかし、婦人会活動にはいろいろな問題があり、日頃役員一同苦慮しているのが現状です。また、最近の急激な社会の変革によって、婦人の生活周期や家庭生活に大きな問題が山積しております。私たちは地域における婦人の役割を自覚し、学習活動や実践活動を展開しなければならぬと思っています。

特に若い人を主体とした部落活動を育成し、伸ばしていきたいので若い人の入会を希望しております。そして健全な地域活動、世論形成の活動を推進していきたいと存じます。

会長 仲野 ナヲ
(☎ 4291)

した。

自分は自分なりに以前から一人で路上を走ることにしていた。また走るときは、一人で走っている町民何人かに会った。それらの人はそれぞれに自分でコースを定めて毎朝のように走っている。そのような人がいるからには、この公民館の呼びかけにはさぞ多くの人が集まるものと期待していたが十日はいにくの雨空のためこの計画も空振りとなっていました。十一日に続けて行くとこの話を聞いた。

国見史跡めぐり

題字は佐藤町長

近代教育 発祥の地
泉秀寺

(32)



現在、国見町には小学校が五校あるが、そのもとになったものの一つが「泉田小学校」で、それは泉田村泉秀寺に創設された。現在の小坂小学校、藤田小学校、大木戸小学校はいくつの変遷を経て現在に至ったものである。泉田小学校の開校は明治六年（一八七三）であるがその月日は明確でない。五月頃、開校に関する打ち合わせが泉田村他六か村の人々でなされており、各村の学校係が任命されたのは七月であるので、おそらくその前後かと推測される。学校係は泉田村他十三か村におかれたと思われるが、現在、石母田村佐藤五兵衛、藤田村泰惣次郎、同奥山忠右衛門の三名が辞命によって確認できる。おそらく各村に「一ないし二名置かれたらうで、それには副

戸長などの村役があつた。泉田村に小学校が置かれるようになった理由として考えられることは、寺小屋があつたこと、また小学校を設置しようとする熱意のある人々があつたことなどが考えられる。その中の有力者の一人が泉田村の人、黒田太郎左衛門であつた。彼は開校して間もない十一月に、字「葉」字引「一部拾四番を献納し、一御進新の恩沢に浴し……千古未曽有の美事と感じ……私先代より家藏の字葉一紙を当校に献納」したき旨をのべている。泉田村のこの様な人々の努力によつて学制の制定明治三十八年ないし六六年に創設されたものであろう。藤田・大木戸にはその年の内支校が開校された。「国見史」一三



10月 神無月 (かなづき)

17日・貯蓄の日
20日・新聞週間始まる
24日・国際連合デー・新聞少年の日
26日・原子力の日
27日・読書週間

11月 霜月 (しもつき)

1日・灯台記念日・自衛隊記念日・教育文化週間・文化財保護強調週間
3日・文化の日
4日・十三夜
5日・52年度年賀はがき売り出し
7日・立冬
8日・世界都市計画の日
11日・世界平和記念日
14日・大相撲九州場所始まる

ひと口が太りすぎのもとは太りすぎの原因が食べすぎであることはもはや常識です。それも、たったひと口が太りすぎをつくるのです。1日100カロリー(茶わん半杯分)ずつ食べすぎると一年で4キロ太るという計算になります。これくらいならという油断が問題むしろ、100カロリーぐらいずつ少なめに食べるのがコツです。



走るのは健康の基本

走ること、歩くことの良いことは誰でも周知のことだ。しかし、現状はどうだろう。車の便利さのおかげで、自分の大切な体にはおされ、後まわしになり、すぐ車を利用してしまおう。子ども達も同じだ。自転車に乗ってしまおう。そのためか、腹の出かかった青年、肥満な子どもが目立ってきた。小生が藤田小学校の教員だったころ、五、六年生で遠足に万歳様まで行き、帰りにはおかけっこをしてきたこともあったが今の子ども達には考えることも出来ないことと思う。せめて朝の一時を走る、歩く、いずれも自分の力に合わせて行えばよいと考える。小生

走ろう会——自分の体力を維持する会として一人でも多くの会員が集まりますよう考えたため、筆を取った次第である。



十日の日に会津若松市で、市民マラソン大会に七十一歳の老人が参加し、完走したという。賞に入らぬよりこれが大切なことではなからうか。わが町でも、このようなマラソン大会が実施できないものだろうか。

などのように五十歳の坂を越したものの、六十歳を越したものが、我が子のような二十歳の者と一緒で考えるのは無理であろう。しかし、自分一人でもやってみようと思ってもなかなか出せないものではない。それには、やはりこのような走ろう会にでも入って行おうがよいのではなからうか。

秋をいろいろ国見町文化祭

※文化祭のお問い合わせは教育委員会へ TEL2111 (代表) 有4171

行事名	内 容	期 日	時 間	会 場	主 管	備 考
若人のつどい	ダンスとおしゃべりパーティ	10月23日(土)	19:00-21:00	町民福祉センター	若人の会 共催 国見町青年会・小坂青年会	18:00-19:00初心者講習会
展 示 会	書・日本画・写真・陶器・手芸 絵馬・俳句・俳画・盆栽・菊花・生花 新聞から見た立県百年の歩み 高令者作品・児童生徒作品・その他	10月30日(土) 31日(日)	9:00-17:00	町民体育館		入場無料
茶 席	茶道へのいざない(裏千家) お気軽にお立ち寄りください	10月31日(日)	10:00-15:00	町民福祉センター	主管 国見町茶道クラブ	無 料
芸 能 発 表 会	民謡・吟詠・歌曲・日本舞踊 コーラス	11月7日(日)	10:00-15:30	町民福祉センター		入場無料
文 化 講 演 会	現代の庶民文化	11月3日 (文化の日)	19:30-21:00	町民福祉センター	講師 県芸術文化団体連絡協議会 事務局 長 丹野清栄殿	入場無料
将 棋 大 会	将棋をとおして若い世代との 交流をはかる	11月23日 (勤労感謝の日)	10:00-15:00	町民福祉センター	会費 300円 昼食持参 小・中・高校の児童生徒参加大歓迎	
母と子のつどい	ふるさとの遊び・人形劇 母と子のおしゃべりパーティなど	未 定	13:00-15:00	町民福祉センター		母と子の読書活動推進事業

町長選挙

十一月十三日(土)が投票日

任期満了による国見町長選挙は十一月六日告示され、十一月十三日に投票が行われます。

投票時間

午前七時から午後六時まで

投票できる人

選挙人名簿に登録されている

・選挙人名簿に登録されている方

・昭和三十一年十一月十四日までに出、また車が通れば道路もすぐいたんで穴だらけ

・野田さんは数年前から「少しでも役立てば……」と、暇を見れば道路を手入れしているのである

・小柄だがシャーンと伸びた背筋、日

・降るたびに土砂が流れ、石が飛び

・出、また車が通れば道路もすぐいたんで穴だらけ

・野田さんは数年前から「少しでも役立てば……」と、暇を見れば道路を手入れしているのである

・小柄だがシャーンと伸びた背筋、日

・降るたびに土砂が流れ、石が飛び

・出、また車が通れば道路もすぐいたんで穴だらけ

・野田さんは数年前から「少しでも役立てば……」と、暇を見れば道路を手入れしているのである

・小柄だがシャーンと伸びた背筋、日

・降るたびに土砂が流れ、石が飛び

・出、また車が通れば道路もすぐいたんで穴だらけ

・野田さんは数年前から「少しでも役立てば……」と、暇を見れば道路を手入れしているのである

・小柄だがシャーンと伸びた背筋、日

・降るたびに土砂が流れ、石が飛び

・出、また車が通れば道路もすぐいたんで穴だらけ

・野田さんは数年前から「少しでも役立てば……」と、暇を見れば道路を手入れしているのである

・小柄だがシャーンと伸びた背筋、日

・降るたびに土砂が流れ、石が飛び



道路を守っている
塚野目の野田さん

やけた顔。とても七十九歳とは思えないほど、若くて元気だ。
「体が動くうちは……」と謙虚に語る野田さん。きょうも一輪車を押し、つるはしや唐ぐわを持って、コツコツといたんだところを直している。

(係より)

このようなくれた善行者を知っている方、または心温まる話を聞いたことがある方、どんな小さなことでも結構ですから役場広報広聴係までお知らせください。

善意の窓

町社会福祉協議会へ
阿部ユキさん 五万円
(徳江字中ノ内十二)

カップル誕生

九月中旬に結婚した人です
国見町に住んでいる人

氏 名 部落(前住所)

佐藤 征市 太田川

児玉美喜子 福島市

松田 富男 貝田

大山 律子 保原町

統計功労者表彰

阿部重雄さん(宮町北)
佐藤充作さん(徳江)
国見電子株式会社

さる九月二十二日会津若松市で開催された第二十六回福島県統計大会において、長年統計調査員として働かれた功績により、阿部重雄(宮町北)、佐藤充作(徳江)両氏に福島県統計協会会長から表彰をうけました。

阿部さんは昭和二十二年から調査員として、国勢調査をはじめ世界農林業センサス、農業基本調査就業構造基本調査、事業所統計調査、商業、工業統計調査、住宅調査、農家台帳調査作成、果樹基本統計調査などあらゆる調査をされました。一方、佐藤さんは昭和二十三年から、国勢調査、世界農林業センサス、農業基本調査、農家台帳作成調査、果樹基本調査などを勤められ、いずれも目立たぬ隠れた存在ながら長い間続けられております。

また、工業統計調査協力優良事業所として国見電子株式に通産大臣表彰されました。工業統計調査は毎年、年々に行われていますが、国見電子株式は操業開始以来積極的に調査に協力、その姿勢がこんどの表彰となったものです。

おしらせ



福島・桑折・国見

森林組合が合併

森林組合の合併については多年の懸案でありましたが、県および町当局の指導と組合員各位のご協力により、さる九月一日、福島森林組合・桑折町森林組合・国見町森林組合が合併、新しく福島森林組合が発足いたしました。

森林組合の目的は、森林施行の合理化、および森林生産の増長とその経済的、社会的地位の向上をはかるためにあります。が、組合員の協力的な活動は組合の経営は成り立たないと思っておりますので、よろしくご協力をお願いします。

これからの森林組合の業務は、福島森林組合で行いますが、ご不明の点がありましたら、町役場の産業課に遠慮なくおたずね下さい。

福島森林組合の出資金は、一口三百円ですが、旧国見町森林組合は一口二百円でしたので、その差額充当のことについては、旧役員が今年中にご相談にまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、福島森林組合の理事として当町より佐藤善次郎、矢戸三郎両氏が選任されました。福島森林組合の事務所は次のとおりです。

福島市岡部字上桑一四番地
 ☎福島(34)9015

狂犬病予防注射

「サービス」

狂犬病予防注射は先に各地区ごとに実施しましたが、都合悪くて受けられなかった方のために「サービス」として実施します。

この機会をのがしますと戸別訪問となり料金が高くなります。

日時 十月三十一日
 午前九時から十一時まで
 場所 役場前
 持参するもの
 注射代として五百四十円
 ※未登録者は印かんと三百円が加算になります。

青年海外協力隊を募集

福島県では、十月十五日から十一月二十日まで、アジア、アフリカ、中米、南太平洋の開発途上国の国づくりに参加する(二年間)青年海外協力隊員を募集しています。

資格 満二十歳から三十五歳までの青年男女

業種 農林水産、鉱工業、交通通信、土木建設、医療、教育、音楽、スポーツの分野

くわしくは福島県生活環境部県民生活課にお問い合わせ下さい。

福島市杉妻町二番一六号
 ☎福島(21)1111
 内線216012

青色申告をしましょう

青色申告は、単に税金の面で有利になるだけでなく、帳簿をつけることによって経営の内容や資金繰りの状況などがよくわかり経営

愛犬が死んだとして、いない場合は保健課衛生係までご連絡ください。☎有(四)五六二(一一)

おめでとうございます

 (九月中に届けられた方) (敬称略)
 (父の氏名) (子の名) (部署)
 菅野 一明 敏行 小館
 佐藤 晴雄 千春 第四班
 須藤 正男 浩徳 板橋
 遠藤 一夫 昌美 鳥根
 吉田 敏彦 淳 山根
 秦 澁成 紀 錦町
 松浦 金光 金蔵 光明寺
 高橋 實 陽子 泉田中

おくやみ申しあげます

(九月中に届けられた方) (敬称略)

氏名	年令	部
遠藤 康治	82	光明寺
吉田 忠夫	70	第四班
穴戸 ツヤ	48	石母田北
菅井 ハナ	82	泉田下
八木沼エキ	78	錦町
遠藤 福平	82	宮町北
廣居榮之助	88	第三班
佐藤 年春	24	中部

の合理化にも役立ちます。

青色申告ができる人は、事業所得、不動産所得、山林所得のある人です。

青色申告をすると、青色申告控除や青色専従者給与など数多くの特典があり、税金は少なくなりま

編集日記



〇運れていた稲刈もようやく進んで今が盛りとなりました。しかし今年、わが町の冷害被害額は水稲を中心に、かつてない二億数千万円にのぼるといわれています。特に、小坂、大木戸地区の山間部の被害がひどく、取り入れの表情もさえません。

〇秋は多くの形容詞のつく季節はないでしょう。スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、そして天高く馬肥ゆる秋……。大いに食べて体力づくりをし、来たるべき沈滞の冬に備えましょう。また静かに更けゆく秋の夜、燈火に親しむのもいいものです。

今月の納税

町県民税 第三期 国保税